

13t ラフタークレーン

(KATO MR-130)

作業半径揚程図

24.0mブーム+5.5mジブ

(オフセット 5°)

24.0mブーム+5.5mジブ

(オフセット 25°)

24.0mブーム+5.5mジブ

(オフセット 45°)

24.0mブーム+5.5mジブ

(オフセット 60°)

24.0mブーム+3.6mジブ

(オフセット 5°)

24.0mブーム+3.6mジブ

(オフセット 25°)

24.0mブーム+3.6mジブ

(オフセット 45°)

24.0mブーム+3.6mジブ

(オフセット 60°)

ルースタシーブ

24.0mブーム

ルースタシーブ

20.26mブーム

ルースタシーブ

16.52mブーム

ルースタシーブ

12.78mブーム

ルースタシーブ

9.04mブーム

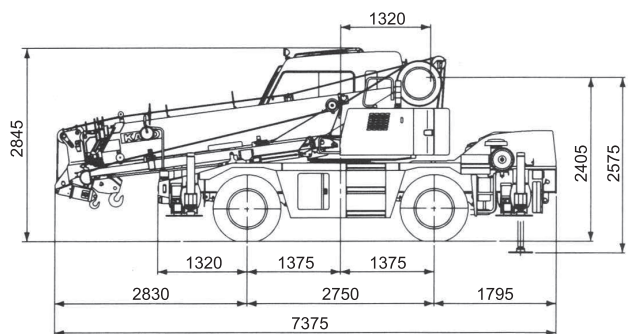
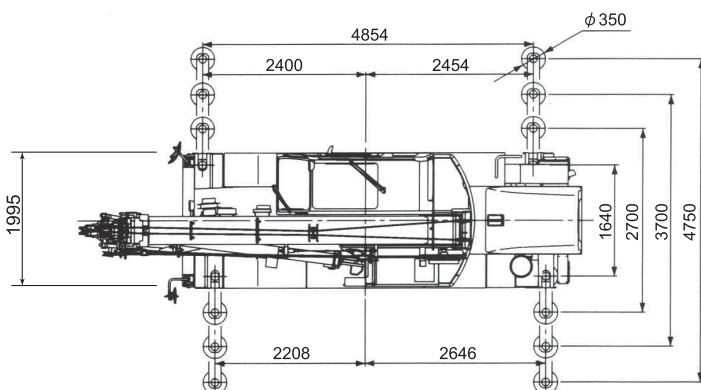
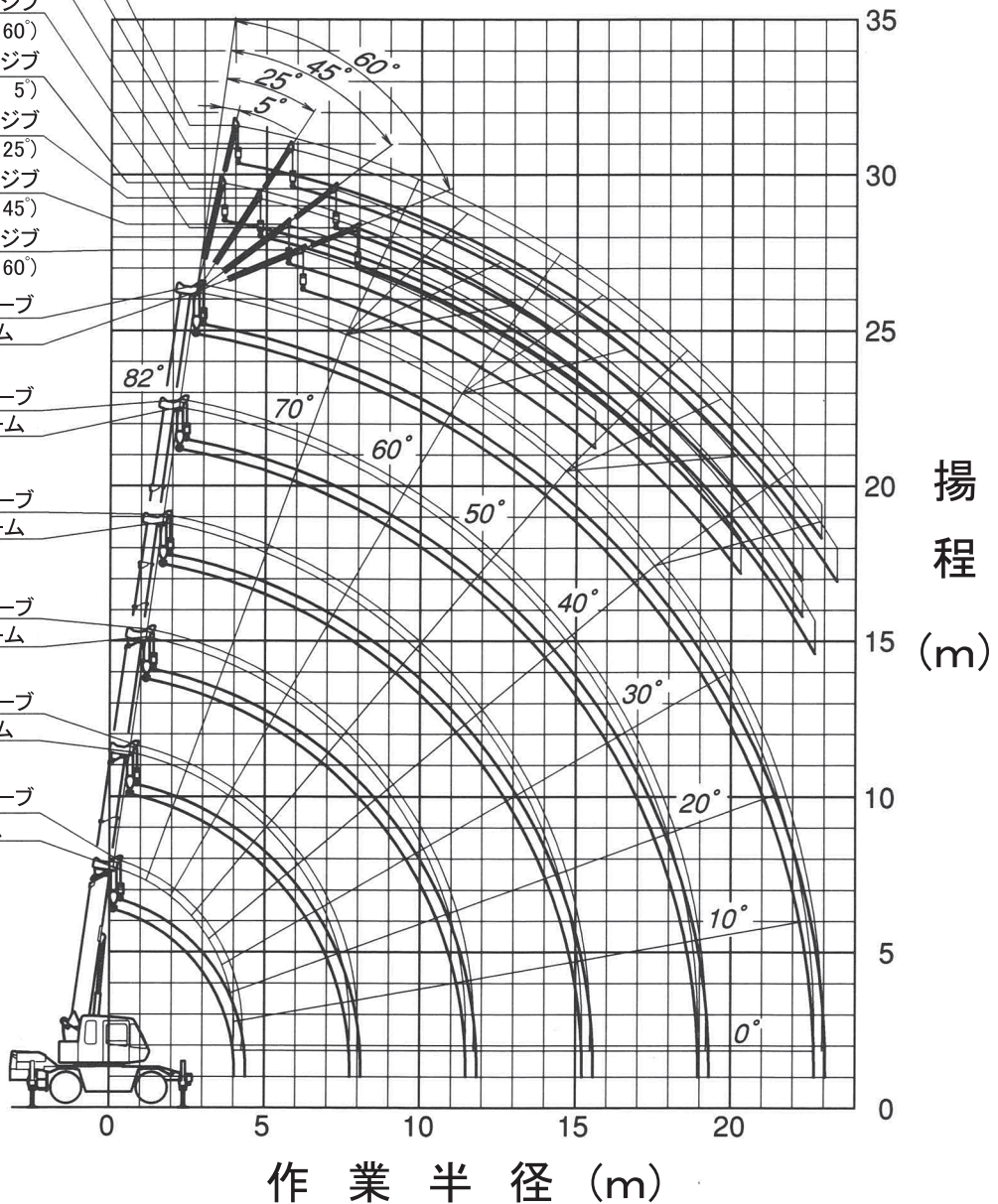
ルースタシーブ

5.3mブーム

(注意)

1) 本図はブーム、ジブのたわみを含んでいません。

2) 本図はアウトリガ細大張出(全周)のものです。



■定格総荷重表

【5. 30m～24. 0m ブーム】

(4. 75m)						
アウトリガ最大張出 (全周)						
作業半径 (m)	5. 3m ブーム	9. 04m ブーム	12. 78m ブーム	16. 52m ブーム	20. 26m ブーム	24. 0m ブーム
1. 5	13. 00	6. 00	6. 00			
1. 7	13. 00	6. 00	6. 00			
2. 0	12. 00	6. 00	6. 00	5. 00		
2. 5	10. 00	6. 00	6. 00	5. 00		
3. 0	8. 20	6. 00	6. 00	5. 00	4. 70	
3. 5	7. 00	6. 00	6. 00	5. 00	4. 70	3. 20
4. 0	6. 10	6. 00	6. 00	5. 00	4. 70	3. 20
4. 5		5. 50	5. 40	5. 00	4. 50	3. 20
5. 0		5. 00	4. 90	4. 60	4. 05	3. 20
5. 5		4. 50	4. 40	4. 20	3. 70	3. 20
6. 0		4. 10	4. 00	3. 80	3. 40	3. 00
6. 5		3. 70	3. 65	3. 50	3. 15	2. 80
7. 0		3. 35	3. 30	3. 20	2. 90	2. 60
8. 0		2. 70 (7. 7m)	2. 70	2. 70	2. 50	2. 25
9. 0			2. 20	2. 30	2. 20	1. 95
10. 0			1. 80	1. 90	1. 95	1. 75
11. 0			1. 45	1. 60	1. 75	1. 55
12. 0			1. 30 (11. 4m)	1. 40	1. 50	1. 40
13. 0				1. 20	1. 30	1. 25
14. 0				1. 00	1. 10	1. 15
15. 0				0. 85	0. 95	1. 00
16. 0					0. 80	0. 90
17. 0					0. 70	0. 80
18. 0					0. 60	0. 68
19. 0					0. 50 (18. 8m)	0. 58
20. 0						0. 48
21. 0						0. 40
22. 0						0. 35
22. 5						0. 32
危険角度	—	—	—	—	—	—
標準フック	13tフック					
フック質量	90kg					
巻掛本数	8	4	4	4	4	4

■定格総荷重表注意事項

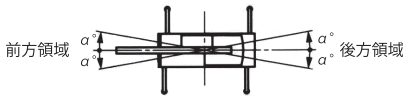
●アウトリガ使用時

1. 定格総荷重表は、水平堅土上において機体を水平に設置した状態での保証できる最大荷重を示しており、ブーム作業時は主フックとつり具、ジブ作業時は補フックとつり具の質量を含んだ値です。
□部分は機械の強度によって、他は機体の安定度によって定められています。

2. 作業半径はブーム・ジブのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。

3. ジブの作業半径は24.0mブームにジブを装着して作業を行った値を示し、その他のブーム長さでのジブ作業はブーム角度だけを基準として行ってください。

4. アウトリガ最縮小張出ではジブ作業を行わないでください。



アウトリガ張出状態	中間張出 (3. 7m)	中間張出 (2. 7m)	最縮小張出
領域 α°	25	15	3

6. ルースタシブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取り付けられているフックその他のつり具の質量を差し引いた値とし、かつ限度を1800kgとします。
【ルースタシブ使用フック：1.8トンフック（質量25kg）巻掛本数1】

7. ブームの長さが規定の長さをこえる場合には、規定の長さか、一段上のブーム長さのいずれか、小さいほうの定格総荷重を目安として作業を行ってください。

【24. 0mブーム+3. 6mジブ】

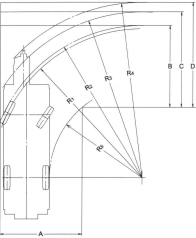
(4. 75m)						
アウトリガ最大張出 (全周)						
ブーム 角度 (°)	5° オフセット 作業半径 (m)	25° オフセット 荷重 (ton)	45° オフセット 作業半径 (m)	60° オフセット 作業半径 (m)	荷重 (ton)	荷重 (ton)
82	4. 4	1. 60	5. 8	1. 50	6. 5	0. 65
80	5. 2	1. 60	6. 4	1. 50	7. 2	0. 65
75	7. 8	1. 60	8. 7	1. 17	9. 5	0. 65
70	10. 1	1. 25	11. 1	0. 98	11. 6	0. 65
65	12. 3	1. 05	13. 1	0. 88	13. 6	0. 65
60	14. 3	0. 90	15. 1	0. 76	15. 6	0. 65
55	16. 3	0. 72	17. 0	0. 64	17. 4	0. 64
50	18. 1	0. 55	18. 7	0. 53	18. 9	0. 52
45	19. 7	0. 40	20. 4	0. 37	20. 3	0. 40
40	21. 1	0. 28	21. 6	0. 27		
35	22. 3	0. 20	22. 7	0. 19		
危険角度	34°	34°	44°	59°		
標準フック	1. 8tフック					
フック質量	25kg					
巻掛本数	1					

【24. 0mブーム+5. 5mジブ】

(4. 75m)						
アウトリガ最大張出 (全周)						
ブーム 角度 (°)	5° オフセット 作業半径 (m)	25° オフセット 荷重 (ton)	45° オフセット 作業半径 (m)	60° オフセット 作業半径 (m)	荷重 (ton)	荷重 (ton)
82	4. 8	1. 00	6. 9	1. 50	8. 2	0. 40
80	5. 6	1. 00	7. 6	1. 50	8. 9	0. 40
75	8. 4	1. 00	10. 1	1. 17	11. 2	0. 40
70	11. 1	1. 00	12. 4	0. 98	13. 4	0. 40
65	13. 4	0. 81	14. 7	0. 88	15. 6	0. 40
60	15. 6	0. 69	16. 8	0. 76	17. 5	0. 40
55	17. 7	0. 58	18. 8	0. 64	19. 3	0. 45
50	19. 6	0. 49	20. 5	0. 53	20. 8	0. 40
45	21. 2	0. 40	22. 0	0. 37	22. 3	0. 35
40	22. 9	0. 28	23. 4	0. 27		
危険角度	39°	39°	44°	59°		
標準フック	1. 8tフック					
フック質量	25kg					
巻掛本数	1					

■最小直角通路幅

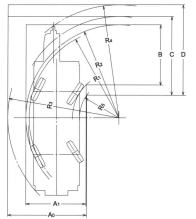
●2輪ステアリングで右折する場合



- ・R₁=6.50m (最小回転半径)
- ・R₂=6.64m (最外輪端回転半径)
- ・R₃=7.23m (車体回転半径)
- ・R₄=7.65m (ブーム先端回転半径)
- ・R₅=4.03m (車体内側回転半径)

- ・A = 3.57m (入り口通路幅)
- ・B = 3.57m (車輪出口通路幅)
- ・C = 4.16m (車体出口通路幅)
- ・D = 4.57m (ブーム先端出口通路幅)

●4輪ステアリングで右折する場合



- ・R₁=3.92m (最小回転半径)
- ・R₂=4.06m (最外輪端回転半径)
- ・R₃=4.85m (車体回転半径)
- ・R₄=4.94m (ブーム先端回転半径)
- ・R₅=1.72m (車体内側回転半径)

- ・A₀=3.44m (車体入口幅)
- ・A₁=2.62m (車輪入口通路幅)
- ・B = 2.62m (車輪出口通路幅)
- ・C = 3.44m (車体出口通路幅)
- ・D = 3.95m (ブーム先端出口通路幅)

(注) 上記の数値は計算値です。

8. ジブを装着したままでブーム作業を行う場合の定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりつり具の質量の他に600kgを差し引いた値です。なおジブを装着したままのルースタ作業、およびアウトリガ最縮小張出におけるジブを装着したままのブーム作業は行わないでください。

9. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。

10. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準フック以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり15.7kN (1.6tf) を限度としてください。

11. ジブ使用時、ジブオフセット角度が規定の角度をこえる場合には規定の角度より一段大きいジブオフセット角度の定格総荷重を目安として作業を行ってください。

12. 高速巻下作業は、フックのみを降下するときに使用してください。また急激なレバ一操作は避けてください。

13. クレーン作業は風速10m/secまで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きいつり荷を取扱う場合は特別な注意を払ってください。

14. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、及び正しい使い方を行わなかった場合は転倒又は破損します。この場合本機の保証はいたしません。